

船舶事故調査報告書

令和3年3月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 事故種類                             | 衝突  |
| 発生日時                             | 令和2年2月9日 05時36分ごろ   |
| 発生場所                             | 京浜港横浜区Y1錨地<br>横浜大黒防波堤東灯台から真方位160°1.35海里付近<br>(概位 北緯35°26.1 東経139°43.0)  |
| 事故の概要                            | 貨物船ALICIA <sup>アリシア</sup> 8は、投錨作業中に圧流され、錨泊中の貨物船KOBARID <sup>コバリード</sup> に衝突した。  |
| 事故調査の経過                          | 令和2年2月13日、主管調査官（横浜事務所）を指名<br>原因関係者から意見聴取手続実施済   |
| 事実情報<br>船種船名、総トン数<br>船舶番号、船舶所有者等 | A 貨物船 KOBARID（パナマ共和国籍）8,718トン<br>9589578（IMO番号）CYBELE SHIPPING,S.A<br>B 貨物船 ALICIA8（パナマ共和国籍）8,657トン<br>9403798（IMO番号）ALICIA EIGHT S.A                 |
| 乗組員等に関する情報                       | A 船長A（ミャンマー連邦共和国籍）免状不詳<br>B 船長B（中華人民共和国籍）免状不詳   |
| 負傷者                              | なし  |
| 損傷                               | A 左舷船首ブルワークに擦過傷<br>B 右舷中央部外板に擦過傷  |
| 気象・海象                            | 気象：天気 晴れ、風向 北、風力 5、視界 良好<br>海象：波高 0.6m<br>本事故当時、強風注意報発表中であった。   |
| 事故の経過                            | A船は、船長Aほか18人（全員、ミャンマー連邦共和国籍）が乗り組み、京浜港横浜区Y1錨地に錨泊中、A船の左舷船首部とB船の右舷中央部とが衝突した。<br>B船は、船長Bほか17人（全員、中華人民共和国籍）が乗り組み、錨泊中のA船の北西方約430mにおいて投錨作業中、強風に圧流され、A船に衝突した。 |
| 分析                               | A船は、強風注意報が発表されている状況下、錨泊中、B船と衝突した。<br>B船は、強風注意報が発表されている状況下、船長Bが、A船の風上至近で投錨作業を行ったことから、風力5の風に圧流され、A船に衝突したものと考えられる。                                       |
| 原因                               | 本事故は、夜間、強風注意報が発表されている状況下、船長BがA船の風上至近で投錨作業を行ったため、風力5の風に圧流され、B船がA船に衝突したものと考えられる。  |
| 再発防止策                            | 今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考え  |

られる。

- ・ 船長は、錨泊する際、風向、風力及び他船との船間距離に十分注意すること。